

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 20 年 3 月 21 日 (金) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	HIV-1 定量
検査コード	7000
J L A C 10	5F500-1453-023-875-01
検体量	血清 3.5 mL
容器・保存	YY ¹ (専用) ・ 必凍
実施料(判断料) ²	510点 ² (微生物)
所要日数	6~8日
検査方法	RT-PCR法(リアルタイムPCR法) ³
基準値(単位)	検出せず(コピー/mL) ⁴
備考	重複依頼不可 凝固完了後遠心分離しそのまま凍結保存

- 1 **「YY(採血量 8mL)容器」で必ずご提出ください。**
検査に必要な検体量が多い為、従来のY容器(採血量 5mL)では、血清量が不足し測定が不可能となります。
- 2 検査実施料・判断料および保険注釈は、2008年3月現在のものを表示しています。
- 3 遺伝子検査は、コンタミネーションの影響を受けるため、重複依頼は避けてください。
なお、検体採取後の容器は、開栓しないでください。
- 4 定量報告下限値未満となった場合でも、
HIV に対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合は、「<40+」
HIV に対して特異的な増幅反応シグナルを検出しなかった場合は、「検出せず」と報告されます。

保険収載名称：HIV-1 核酸増幅定量精密検査

保 険 注 釈：ア．HIV-1 核酸増幅定量精密検査は、PCR 法と核酸ハイブリダイゼーション法を組み合わせた方法により、HIV 感染者の経過観察に用いた場合又は HIV-1 抗体価又は HIV-1,2 抗体価が陽性の場合の確認診断に用いた場合にのみ算定する。

イ．HIV-1 核酸増幅定量精密検査と HIV-1 抗体価精密測定を併せて実施した場合は、それぞれを算定することができる。

ウ．HIV-1 核酸増幅定量精密検査と HIV-1 核酸同定検査を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。

《 解 説 》

HIV-1 定量（リアルタイム PCR 法）検査は、従来よりも広範囲（40 コピー / mL ~ 10⁷ コピー / mL）でウイルス量の測定が出来るようになりました。

HIV 感染のスクリーニングにおいては、従来法と同様に確認検査として、また抗ウイルス剤による治療時にはウイルス量のモニタリングとしても最適な項目です。

《新容器の形状および内容》

	内 容	凝固促進剤 分離剤
	採取量	8 mL
	容器の貯蔵方法 有効期間	室温 1 年
	適用検査項目と採取上の注意点	

HIV-1 定量

血液 8mL を採取し、5～6 回ほど静かに転倒混和したのち、室温にて 30～60 分間静置します。凝固完了後遠心分離し、そのまま凍結保存してください。

他項目との重複依頼は避けてください。